



---

## 画像診断部からのメッセージ

～最新の診断機器、豊富な症例、多くの同僚と～

当診療部は、読影室、核医学、超音波、Interventional Radiology と 4 部門、読影室はさらに脳・神経、頭頸部、胸部、心大血管、腹部、骨盤、乳腺、骨軟部で区分されており、各部門、各領域で高度専門化した臨床、教育、研究が行われています。慈恵医大は本邦で最も多くの画像検査を行う大学病院のひとつで、2020 年の新外来棟開院で最先端の画像診断機器がさらに増設されます。また、当講座は約 100 名（放射線治療医も含まれます）のスタッフを擁する有数の放射線医学講座です。

後期研修では既出の全部門・領域（に加えて放射線治療）をローテーションして学ぶプログラムとなっており、豊富な症例、多くの指導医のもと、放射線医学全般にわたり専門性高い研修が行われています。また、連携施設では general radiologist として幅広く実践的な対応を学ぶことができます。

最近の入局者の約半数は学外出身、約半数は女性医師です。画像診断の多くは自分のペースや熱意にあった学習ができワーク・ライフバランスの多様性にも広く対応可能です。意欲のある方のご応募を多数お待ちしております。

画像診断部 診療部長 尾尻 博也

---